

【平成 27 年度・前期学期・マクロ経済学 I・課題 5】

☆ 平成 27 年 7 月 28 日、期末試験開始前締切

【問 1】中央銀行がマネタリーベース（ベースマネー、ハイパワードマネーとも呼ばれる）をコントロールする場合について、次の設問に答えなさい。

- ① マネタリーベースとはどのようなものですか？説明しなさい。
- ② 中央銀行が政策を行う場合、公開市場操作を行うが、この時の操作として買いオペ、売りオペとゆわれるものはどのようにマネタリーベースを変えることができるか説明しなさい。
- ③ 法定準備率とはどのようなものか説明しなさい。
- ④ 法定準備率操作がどのように働くか説明しなさい。

【問 2】ある経済では、貨幣供給量が 80 億円であると知られている。今、この経済の均衡国民所得が 480 億円であり、貨幣需要関数が

$$M_d = 100 - 160000r + 10Y$$

で与えられている。

- a) 貨幣を保有する動機には 3 種類がある。これらは何であるか挙げ、説明しなさい。
- b) 貨幣の市場を均衡させる均衡利子率を求めなさい。小数点以下第 3 位まで r を計算し、第二位までで答えなさい。

【問 3】ある経済が閉鎖経済で、民間部門と政府部門によって構成されているとする。また、次のよう、この経済の財の市場を表す式が与えられている。これらについて後の問に答えなさい。（単位 は億円）

$$\text{消費関数 : } C = 16 + 0.7Y$$

$$\text{独立投資 : } I = 18.5$$

$$\text{政府支出 : } G = 10.5$$

ただし、 C は消費支出、 I は投資支出、 G は政府支出、 Y は国民所得であるとする。

- (ア) この経済の総需要関数を表わしなさい。
- (イ) この経済の均衡条件を数式であらわし、均衡国民所得を求めなさい。
- (ウ) 今、この経済の潜在生産高が 180 である場合、この経済に生じるデフレ・ギャップの大きさを求めなさい。この状態を図に示しなさい。
- (エ) 今、この経済における投資需要関数が、上記の独立投資のみによるものから、利子率にも依存する関数に変更され、

$$I = 18.5 - 150r$$

になったとする。市場の均衡利子率が 3% ($r^* = 0.03$) であった場合について、以下の問いに答えなさい。

- (ア) この経済で均衡利子率に対応する投資需要額はいくらになるか計算しなさい。また、この投資額に対応する均衡国民所得はいくらになるか計算しなさい。
- (イ) 上の a. で答えた均衡国民所得から、この経済にはインフレ・ギャップまたはデフレ・ギャップのいずれが存在するか答えなさい。またそのギャップの大きさはいくらになるか計算しなさい。